

附属書 3

広島 AI プロセスの成果の前進

我々は、2023年5月に日本のG7議長国として開催されたG7首脳会合において立ち上げられた、高度なAIシステムの安全、安心で、信頼できる開発、導入、利用を促進するための「広島AIプロセス」の成果を推進することに引き続きコミットする。我々は、デジタル・デバイドを解消し、デジタル・インクルージョンを達成する観点から、開発途上国や新興国を含む世界中の全ての人々の利益のために、そのリスクを軽減しつつ、技術の便益を最大化するために、その指針及び行動規範を含む枠組みへのコミットメントを改めて表明する。日本のG7議長国のリーダーシップの下での進展を踏まえ、我々は、広島AIプロセスの成果を前進させるための以下の主要な行動、特に、開発途上国・新興経済国を含む主要なパートナー国や組織における指針・行動規範の普及、採択、適用を促進するための行動を歓迎する。我々は、OECDの支援を受け、また、ユネスコやGPAIなど、関連する他のステークホルダー、組織、イニシアティブの情報を得ながら、これらの行動を推進するために協力する予定である。

- 啓発イベント、情報共有、マルチステークホルダーの関与と意見交換及び広島AIプロセスの成果に関するオンライン・リソース等を通じて、指針および行動規範の普及を促進し、主要なパートナーや組織の関与を拡大する。
- 高度なAIシステムの開発における説明責任を促進し、行動規範の影響と効果を理解するために、自主的にこれらの成果にコミットする組織による、行動規範の適用をモニターするための適切なツールとメカニズムを特定し、開発し、導入する。
- グローバル・チャレンジやその他の潜在的な機会を通じて、OECD、GPAI、ユネスコとプロジェクトベースの協力を継続し、偽情報、透明性の課題、高度なAIシステムに関連するその他の課題に対抗するための方策や実践を模索する。